

一九八 尊靈御菩提御書

尊靈御菩提無疑者歟。適時而已等釋此意歟。大田殿、次郎入道殿御事は觀心之法門、時可申。大田殿御所勞之事、雖歎之はた又轉重

一九九 觀心本尊得意鈔

鷺目一貫文、厚繇、白小袖一、筆十管、墨五丁給畢。

身延山如知食、冬嵐はげしく、ふり積雪は不消。極寒の處にて候間、晝夜行法もはだ(膚)うすにては難堪辛苦にて候仁、此小袖を著は不可有思候也。商那和修は付法藏の第三聖人也。此因位を佛説云、乃往過去病比丘仁與衣故に、生生世世仁不思議自在の衣得たり。今御小袖は似彼。此功德は日蓮は不可知之。併奉任釋迦佛畢。抑今御狀云、教信御房、觀心本尊鈔未得等付文字、迹門をよまじと疑心の候なる事、

【系年】建治元年十一月二十三日(54) 富木氏へ
【寫】平賀本 【刊】内 39₂₈ 遺 19₇₀ 縮 1330
【註】健 25₇₈ 啓 36₉₄ 扶 15₄₅

【系年】建治元年十一月
(54) 富木氏へ⑤ 【眞蹟】
1紙5行斷 京都頂妙寺藏
(新加)